

**製品名: CPN1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87525**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:52 kDa; Observed MW:52 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CPN1
別名	CPN; SCPN
遺伝子 ID	1369
SwissProt ID	P15169
免疫原	ヒト CPN1 の合成ペプチド

**背景**

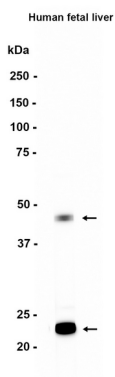
カルボキシペプチダーゼ N は、ペプチドおよびタンパク質の C 末端から塩基性アミノ酸を切断する血漿メタロプロテアーゼです。こ

の酵素は、キニンやアナフィラトキシンなどのペプチドの調節に重要であり、キナーゼ -1 やアナフィラトキシン不活化因子としても知られています。この酵素は、2つの同一の調節サブユニットと2つの同一の触媒サブユニットからなる四量体であり、この遺伝子は触媒サブユニットをコードしています。この遺伝子の変異は、カルボキシペプチダーゼ N 欠損に起因する血管性浮腫または慢性蕁麻疹と関連する可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



CPN1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、ヒト胎児肝臓組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。